

COP11 サイドイベント(環境省関連)一覧表

番号	テーマ	主催者	開催日時	概要	参加者人数
1	国家戦略・目標設定に関する各国の取組 (生物多様性日本基金による支援事業の成果報告) (NATIONAL PROGRESS ON NBSAP REVISION AND TARGET SETTING)	CBD事務局生物多様性日本基金	10/8(月) 13:15～ 14:45	生物多様性日本基金を通じた活動を踏まえ、国別目標の設定・生物多様性国家戦略の改定に関する各国の取組の情報交換を目的として開催された。日本から「生物多様性国家戦略2012-2020」の概要・策定経緯を紹介したほか、目標設定・主流化などの切り口からのパネルディスカッションが行われた。	約150人
2	社会生態学的生産ランドスケープの多様性と生態系サービスの促進 (PROMOTING DIVERSITY AND ECOSYSTEM SERVICES IN SOCIO-ECOLOGICAL PRODUCTION LANDSCAPES)	環境省、IUCN、IUCN-J、NACS-J、UNU-IAS	10/10(水) 13:15～ 14:45	社会生態学的生産ランドスケープ(SEPLs)における暮らしと自然との関わり、生態系サービスの把握について、各国の事例(日本、インド、ブルキナファソなど)をもとに検討するサイドイベントを行った。	約80人
3	アジアからの事例による愛知目標11の検証 (INTERPRETING AND TRACKING TARGET11 - What does success look like for protected area systems - with specific examples from ASIA)	IUCNアジア事務所、韓国国立公園公団及び環境省等	10/10(水) 13:15～ 14:45	世界の保護地域の現状をまとめたレポート(Protected Planet Report 2012)、愛知目標11に関する分析等について発表が行われた。日本からは、平成25年11月に宮城県仙台市で開催されるアジア国立公園会議の紹介を行った。	約40人
4	愛知目標に向けた活動 -市民社会の参画促進 (TAKE ACTION FOR AICHI TARGETS- Show you the way to engage civil society)	IUCN日本委員会、CEPAジャパン、国連生物多様性の10年日本委員会	10/10(水) 18:00～ 20:00	我が国からは、「IUCN-J」による「にじゅうまるプロジェクト」の紹介とともに、CEPAジャパン及び「国連生物多様性の10年日本委員会」による「My行動宣言5アクション」などの取組について、「IUCN-J」吉田会長より紹介。ユースからはグローバルなネットワークが設立され、積極的な活動を展開する計画である旨の発言もあった。	約40人
5	SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ(IPS)の成果と今後の展望 (ACHIEVEMENTS AND FURTHER DEVELOPMENT OF THE INTERNATIONAL PARTNERSHIP FOR THE SATOYAMA INITIATIVE (IPS))	環境省、IPS事務局	10/11(木) 13:15～ 14:45	10月7日に行われたIPS公開フォーラムの成果と、これまでのIPSの歩みやIPSの戦略、主な協力活動について共有するとともに、今後の展望について議論した。	約80人
6	ABSに関する名古屋議定書を履行するための遺伝資源利用国としての措置に関する情報共有 (INFORMATION SHARING ON THE ADOPTION OF MEASURES BY PARTIES AS USERS OF GENETIC RESOURCES IN ORDER TO MEET THEIR OBLIGATIONS UNDER THE NAGOYA PROTOCOL ON ABS)	環境省、CBD事務局・EU	10/12(金) 13:15～ 14:45	日本、EU、デンマーク、ノルウェー及びスイスが、議定書の実施に向けた遺伝資源等の利用国としての措置の検討状況や措置案の概要を発表した。	約90人
7	劣化したランドスケープの再生・修復による生態系サービスの社会的便益 - 技術的・社会的アプローチの経験共有 (SOCIAL BENEFITS OF ECOSYSTEM SERVICES ENHANCED BY RESTORATION/REHABILITATION OF DEGRADED LANDSCAPES - SHARING EXPERIENCES OF TECHNOLOGICAL AND SOCIAL APPROACHES)	自然環境共生技術協会(環境省協力)	10/12(金) 18:15～ 19:45		
7	アジア太平洋地域生物多様性観測ネットワーク(AP-BON)の目的と活動 (ASIA-PACIFIC BIODIVERSITY OBSERVATION NETWORK (AP BON): ITS AIMS AND IMPLEMENTATION)	環境省	10/15(月) 18:15～ 19:45	愛知目標の達成やIPBESに貢献するための生物多様性観測ネットワークの活動について議論を行った。	約20人
8	東・東南アジア生物多様性情報イニシアティブ(ESABII)を通じた分類学の能力育成の促進 (PROMOTION OF TAXONOMIC CAPACITY BUILDING IN EAST AND SOUTHEAST ASIA UNDER ESABII PROGRAMMES)	環境省	10/16(火) 13:15～ 14:45	東・東南アジアでESABIIが実施した分類学能力構築のための研修の紹介を行い、愛知目標達成への貢献のあり方について議論を行った。	約30人
9	世界市民会議(ワールド・ワイド・ビュー)に関するサイドイベント (Presenting World Wide Views on Biodiversity)	デンマーク政府、CBD事務局、環境省	10/18(木) 13:15～ 14:45	世界市民会議の紹介、デンマーク政府・日本政府・CBD事務局による当活動の意義に関するスピーチのあと、各国のコーディネーター等から各国での実施結果についての報告があった。日本政府は生物多様性日本基金を通じ本活動の途上国での実施を支援しており、本活動が愛知目標の特に目標1に資することなどについて言及した。	約20人